

ご存知ですか？

治療と仕事の両立支援について

治療と仕事のことで、1人で悩みをかかえていませんか？

がん・脳卒中・心疾患・糖尿病・肝炎・難病など、継続的に治療を受ける病気になったとき…。

- ・例えば…、がんと診断されたけど仕事を継続したい
- ・病気のことを会社にうまく伝えられない
- ・治療と仕事を両立できるか不安
- ・今後の働き方について誰に相談したらいいかわからない
- ・職場の理解・協力が得られない
- ・治療に合わせた短時間勤務や、休暇取得が難しい

仕事は経済的な支え、仕事を続ければ安心して治療にも専念できます

今は仕事をしながら治療を続けることが可能な時代。仕事をしながらがんで通院している人は推計32.5万人います。日本人の2人に1人ががんになると言われています。がんと診断された患者のうち3人に1人は20～64歳の働く世代です。

働く人（患者）にとっては、仕事は経済的な支えとなるだけでなく生きがいでもあります。

治療と仕事の両立支援とは

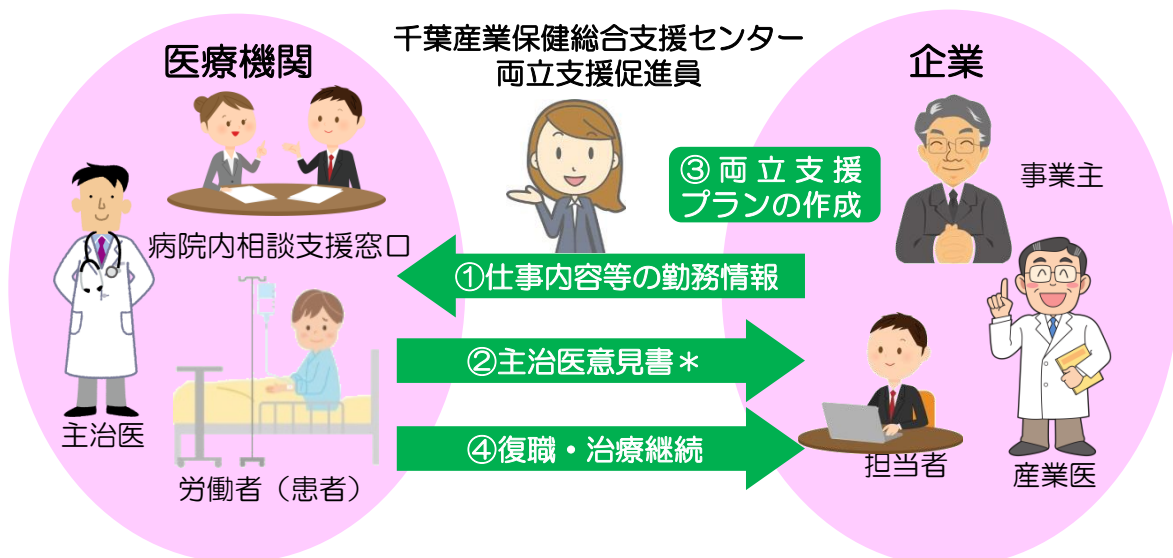
＜労働者（患者）＞ 治療中も仕事は可能か、会社から治療中の配慮をしてもらえるのか。

＜主治医＞ 患者はどんな仕事をやっているのか、就業上の配慮はできるのか。

＜事業者＞ 治療中も仕事は継続できるのか、仕事にどんな配慮が必要か。

両立のための職場環境整備はどのように進めたらよいか。

そんな疑問に答えられるよう、労働者や事業者からの依頼により、両立支援促進員等がステップに応じた助言・支援を無料で行い、労働者・事業者・医療機関の連携をお手伝いします。



* 両立支援に関するがんの主治医意見書作成は、産業医が選任されている事業場に就労している場合に、平成30年度診療報酬改定により診療報酬の対象となります。

その他、事業場向けに治療と仕事の両立への理解を促進する社内研修の実施や、治療への配慮などが円滑に進むような職場環境の整備について相談に応じています。

お問合せは

千葉県地域両立支援推進チーム

独立行政法人労働者健康安全機構

千葉産業保健総合支援センター

〒260-0013 千葉市中央区中央3-3-8 日進センタービル8階

TEL 043(202)3639 平日9:00~16:00 FAX 043(202)3638

URL <http://www.chibas.johas.go.jp>

